

【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 山中温泉支所振興課
教育委員会文化課

II	施策	公共施設の適正な管理運営
III	基本事業	指定管理者制度導入施設の管理運営
	事務事業名	ゆけむり健康村の適正管理/加賀アートギャラリーの適正管理

1. 基本事業の主旨・目的

市は、公の施設について住民サービスの維持向上と、管理経費の削減、効果的・効率的な運営を図っていくため、民間事業者等の持つアイデアやノウハウをより効果的に運営ができるよう指定管理者制度を導入し適正に管理運営する。

2. 基本事業の内容

市は、公の施設について住民サービスの維持向上と、管理経費の削減、効果的・効率的な運営を図っていくため、民間事業者等の持つアイデアやノウハウをより効果的に運営ができるよう指定管理者制度を導入し適正に管理運営する。

3. 事業

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
132	ゆけむり健康村の適正管理	ゆーゆー館(温浴・プール・フィットネス)・すこやかホール・テニスコートの適正管理(指定管理)	③抜本的見直し	7,697.0 (0)
245	加賀アートギャラリーの適正管理	加賀アートギャラリーの適正管理(指定管理)	②継続	2,292.0 (0)
※ ()内は人件費相当額で内数				9,989.0 (0)

4. 主な財源の内訳

財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)	2,249.0		7,740.0	9,989.0

5. 実施状況等

ゆけむり健康村適正管理
 ・指定管理者 加賀市総合サービス株式会社(スタッフ 支配人、管理人、受付員、販売員)
 ・利用者数 H20 199千人→H21 210千人
 ・管理委託費 H20 57,888千円 維持補修費 4,465千円
 H21 49,000千円 維持補修費 27,145千円

・自主事業(道の駅物販)
 H18 11,027千円 H19 39,021千円 H20 46,126千円 H21 46,435千円

・その他 受付員教育・顧客の送迎・松風荘事業の一部受入・身障者の受入体制の強化等
 広報活動(ホームページの開設、タウン情報誌等)・ロビーの有効活用(民謡演奏等)
 温浴施設、多目的ホール、テニスコートなど複合施設の「道の駅」として、誘客に努めている。

加賀アートギャラリーの適正管理
 ・指定管理者 加賀市総合サービス株式会社(スタッフ 館長、学芸員、事務員、受付員)
 ・利用人数 H20 27千人→H21 26千人
 ・管理委託費 H20年度 21,339千円 維持補修費 652千円 計 21,991千円
 H21年度 21,330千円 維持補修費 1,590千円 計 22,920千円

・市共催事業 10事業(現代美術展加賀展・加賀美展・加賀市美術展他)
 ・自主事業(普及啓発事業) 3事業(ぐるりアート事業・アートインコンサート・ワンディアート)
 ・その他 ロビーの有効活用(休憩スペース、ドリンクコーナー設置、ミニコンサートの開催等)

②外部評価結果及び平成23年度予算編成過程

⇒

1. 評価結果	コメント
適切	<ゆけむり健康村> ・民営化までのプロセス、モデルを構築し、積極的に改革しながら事業展開を行うこと <加賀アートギャラリー> ・企画力を高め、他団体との積極的連携を図ること ・春夏秋冬を通じて利用促進に努めること

2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容

指定管理制度の導入により、民間事業者の持つアイデアやノウハウを取り入れ、より効果的な運用を図る。他の展覧施設等との共催による企画展を積極的に展開し、一年を通じた利用促進を図る。

3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果

館の効果的運用が図られ、利用者数が増加し、管理経費の節減につながる。企画展等の他館との連携実施により、相乗効果による宣伝や誘客の促進の効果が期待できる。

4. 予算編成過程 [単位:万円]

H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
5,177.0 (0)	6,572.0 (0)	6,046.2 (0)	6,046.2 (0)	
2,203.0 (0)	2,421.0 (0)	2,336 (0)	2,336 (0)	
合計	8,993.0 (0)	8,382.2 (0)	8,382.2 (0)	

⇒

5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など

・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考
○ゆけむり健康村 ゆけむり健康村においては、住民サービス向上、効果的・効果的な運営の観点から、濾過器取替修繕・劣化照明器具取替、また鋼製ロッカーの更新などを行う事とした。 自主事業(道の駅物販)を積極的に展開するとともに、観光協会などとも更なる連携を図りながら、誘客増と加賀市のイメージアップにつなげる。	No.132、245: 施設の維持管理に係る修繕費について、要求箇所の1部を平成22年度に前倒して行うこととした。その分を調整により減額した。 その他、委託料については、要求どおり	No.132、245: 財政調整のとおり 両施設とも、市民の健康増進、教育文化の発展に寄与する施設で、維持管理は適正に行う必要がある。	
○加賀アートギャラリー 指定管理料は、基本的には5年間の指定期間中は増減しない方針であるが、館藏品や寄託品の適正な取り扱いのため、空調設備の整備により、年間の電気料の上乗せを行った。 施設の老朽化に伴う修繕工事を危険度等を踏まえ、計画的に実施する。 指定管理者の提案に基づき、共催事業や他館との連携による企画展、ロビーの有効活用等積極的な展開を行う。			

【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 教育委員会文化課
教育委員会生涯学習課

II	施策	公共施設の適正な管理運営
III	基本事業	市直営施設の管理運営
	事務事業名	九谷焼美術館の適正管理／図書館の適正管理

1. 基本事業の主旨・目的

・市民の生涯学習活動を活性化させ、市民文化の高揚を図る。
・市民および市内小中学校等に対して、社会教育施設としての機能を果たすため、教育委員会による九谷焼美術館および図書館の管理運営を行う。

2. 基本事業の内容

・生涯教育としての施設利用を促すため数々の事業や催し物を開催して、各施設の利便性、能力向上、快適性等特徴をアピールし、市民が何度も利用する満足度の高い施設管理を行う。

3. 事業

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
242	九谷焼美術館の適正管理	九谷焼を鑑賞する人々の満足度をさらに高めるとともに、伝統産業である九谷焼の振興と観光客の増大を図るため、九谷焼に関する資料を収集・保存・展示する。一方で、子どもたちの参画・参加を促して教育普及活動を推進する。	②継続	4,584.1 (1368.0)
279	図書館の適正管理	図書の充実を図り、赤ちゃんから高齢者までが図書館を利用できるような年齢や志向に合った各種講座を開催し、引き続き利用の増加を進める。 また、利用者が快適に読書や学習ができる施設管理に努める。	②継続	7,690.5 (3,078.0)
※ ()内は人件費相当額で内数				10,906.6 (3,078.0)

4. 主な財源の内訳

財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			10,906.6	10,906.6

5. 実施状況等

○九谷焼美術館	○図書館
◆九谷焼関連企画展の開催 年間5回 (H21年度) ・第32回伝統九谷焼工芸展・選抜加賀展 ～現代九谷の輝き～ (入館者数 2,620名) ・夏休み企画「第6回小学生イラスト原画九谷焼絵画展 ～美術館は鳥の楽園!～」(入館者数 8,908名) ・現代加賀九谷の作家展 (入館者数 5,554名) ・青手継承の幕末藩黨 九谷松山黨伝世名品展 (入館者数 5,118名) ・古九谷端皿展 ～愛玩伝世の五彩～ (入館者数 5,258名)	・蔵書数 (中央 237,416冊、山中78,976冊) ・登録者数 37,806名 ・貸出冊数(中央 315,373冊、山中85,018冊) ・購入冊数(中央 5,757冊、山中 3,278冊) ・レファレンス (中央 1,252件、山中 1,006件) ・催し物 お話し会《おはなしの森、おはなしの泉など》 (中央119回 3,324名、山中76回 1,146名)※ 各種教室・講座《ふるさと歴史講座、文学散歩など》 (中央 88回 1,016名、山中 4回 48名)※ 保育園支援《えほんよみきかせ隊など》 (中央 43回 2,148名、山中15回 531名)※ 学校支援《図書館おでかけ隊など》 (中央 15回 629名、山中 8回 429名)※ 体験学習《わく・ワークなど》 (中央 5回 27名、山中 1回 4名) 高齢者支援《お話し会》(山中5回 113名)※ 広報音訳録音 (中央35回 175名) ・自動車文庫貸出冊数 85,018冊
◆九谷焼作品常設展 年間2回展示替 (入館者数 29,239名)	

⇒

②外部評価結果及び平成23年度予算編成過程

1. 評価結果	コメント
適切	・価値の創造とアートの創造によって、人を作っていくこと ・温泉、食、アートとナレッジで物語を作ることが大切であり、文化の専門機関との連携を図るべき ・市民がもっと利用できる施設(場)は、これからの地域おこしに不可欠である

2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容

・市民の生涯学習を活性化させ、学習成果の還元によって市民文化の高揚と文化創造の底辺拡充を図っていく。
・市民である子供から大人まで創造性豊かな人づくりを目的とする「社会教育施設」としての機能を発揮するため、観光商工や芸術文化の団体、ほかの文化施設や学術研究機関等との連携を深めながら教育委員会による九谷焼美術館および図書館の管理運営を行っていく。

3. 基本事業の内容に基づき、事業を実施した場合に期待される効果

・子供から大人までの人づくりを目的とした教育創造的な事業や催し物を開催し、各施設の利便性、能力、快適性等を高め、市民が何度も訪れ利用する文化的満足度の高い施設(場)づくりを行なうことで、市民「自慢」の施設となり、生涯学習促進に資することとなる。それが創造性豊かな市民を育て加賀市づくり、地域おこしに波及していくことが期待される。

4. 予算編成過程

【単位:万円】				
H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
5,407.1 (1992.0)	5,441.9 (2025.0)	5,418.3 (2,013)	5,418.3 (2,013)	
9,552.0 (2,988.0)	8,418.3 (3,037.5)	8,400.3 (3,019.5)	8,400.3 (3,019.5)	
合計	13,860.2 (5,062.5)	13,818.6 (5,032.5)	13,818.6 (5,032.5)	

⇒

⇒

5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など

・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考
◆事業概要: ○九谷焼美術館 子供達が九谷焼のイラスト原画を創造・創作するコンクールを開催する一方、情操教育に適した優れた美術品との出会いの場を設ける。 また、次年度は北前船の里資料館との連携で、近江商人「藤野家」と関わり深い彦根藩の湖東焼を取り上げ、彦根城博物館、滋賀県立陶芸の森陶芸館、又十豊会館、滋賀大学経済学部附属史料館などの協力を得て特別企画展を行なう。 さらに生涯学習促進や観光振興の面においても関係団体と連携しながらホスピタリティを高めよう、解説ボランティアの育成をすすめ、映像システムの更新を図る。 ○図書館 人を作り、育てていく施設である図書館は、市民の要望や幅広い年齢層に見合った各種事業を行うことで、利用者の掘り起こしや貸出冊数を伸ばすことに努め、老朽化した施設の管理にも、最善を尽くし、より良い読書環境を保持する。	No.242: 映像システム更新に係るリース料について、内容を精査した結果、減額したが、その他委託料・事業費については、要求どおり また、人件費相当額は、調整により減額とした。 No.279: 人件費相当額のみ調整により減額としたが、事業費については、要求どおり	No.242、279: 財政調整のとおり 文化知識の向上と生涯教育を提供する場としての重要な施設であり、利便性の向上を図り、より多くの市民に利用されるような管理・運営が必要となる。	
◆予算要求の考え方 ○九谷焼美術館 特別企画展の集荷搬送が県外の彦根市になる等、昨年度とは違う予算費目別の支出額に増減があるが、全体枠を昨年並みに調整した。 ○図書館 利用者サービスは維持しつつ、施設維持管理費は最大限の削減を図った。			

【公開討論会(外部評価)の評価結果を踏まえた平成23年度予算編成過程】

①基本事業における外部評価資料

(担当部署) 教育委員会スポーツ課

Ⅱ	施策	公共施設の適正な管理運営
Ⅲ	基本事業	類似施設の有効活用及び統廃合の検討
	事務事業名	生涯スポーツ施設の有効活用

1. 基本事業の主旨・目的
市民のスポーツ振興及び福祉の増進を図ることを目的とし、指定管理者制度の導入に伴い民間等の持つアイデアやノウハウにより、効果的な運営を期待できることから、今後各スポーツ施設における有効な活用を検討する。

2. 基本事業の内容
スポーツ施設の空きスペースを有効に利用するため、特に、日中の利用が少ない時間帯に活動できる高齢者等を対象とした各種スポーツ教室を開くことで利用の促進を図る。

3. 事業				
整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H21決算額 (万円)
284	生涯スポーツ施設の有効活用	スポーツ施設の充実を図り、安心安全な生涯スポーツ活動ができるスペースを確保し、効率的な運営を行う。	②継続	136.8 (136.8)
※ ()内は人件費相当額で内数				136.8 (136.8)

4. 主な財源の内訳				
財 源	国・県支出金	起債	一般財源	計
H21決算額(万円)			136.8	136.8

5. 実施状況等
指定管理者の自主事業
○プール施設 (株)エイム ・水泳スクール(高齢者、ジュニア)の開催 会員数、対前年比 約1.1倍
○体育施設(プールを除く) 加賀市総合サービス(株) ・ウォーキング、スタンプウォークラリー、リフレッシュ・ヨガ教室、ボクササイズ教室、遊びの広場の開催 参加者、対前年比 約1.9倍
自主事業を積極的に開催し、スポーツ施設の有効利用に貢献している。

②外部評価結果及び平成23年度予算編成過程

⇒	1. 評価結果	コメント			
	適切	・合併の経緯もあり、事業のデータを提示・把握し、特色を出しながら、施設の有効活用に努めること			
	2. 評価結果を踏まえて変更した基本事業の内容				
	変更なし				
	3. 基本事業の内容及び、事業を実施した場合に期待される効果				
	今後、長寿課、健康課、社会福祉協議会等と協力し合い、体育施設の空き時間を有効に活用し、高齢者の皆様がスポーツに親しみ自らの健康の維持管理を目指すとともに、健康寿命の延伸につなげる。				
	4. 予算編成過程 【単位:万円】				
	H22年度予算額	H23年度要求額	調整額	最終予算額(案)	備考
⇒	132.8 (132.8)	135.0 (135.0)	134.2 (134.2)	134.2 (134.2)	
⇒					
	合計	135.0 (135.0)	134.2 (134.2)	134.2 (134.2)	
	5. 予算要求、調整の考え方、事業概要など				
	・予算要求の考え方、事業概要	・調整の考え方	・最終予算案の考え方	備考	
	余暇時間のある市民が、健康増進や体づくりのために施設を利用することは、施設の利用促進やスポーツ振興につながることから、積極的に新規のクラブ育成やスポーツ団体の活動支援を行う。また、市民が安全安心に利用できるように、古い体育施設そのものの安全管理が第一である。例えば突発的な修繕においても、早急に対応できる予算が必要となる。	No.284: 事業費全体が人件費のため、調整により減額とした。	No.284: 財政調整のとおり 市民の健康増進や体づくりにはスポーツ施設が必要不可欠である。 利用率が低い平日の日中において高齢者等を対象とした各種スポーツ教室の開催は有効活用に寄与する。		